

単独運転防止方法の概要

メーカー名	株正興電機製作所
形式	ESK-I03B10-C

同様の方式を採用している形名	ESK-I03B10-α2、ESK-I03B08-A、ESK-I06B10-B ESK-I1.5B07-T、ESK-I1.5B07-H ESK-I03L12-A、ESK-I03L12-B、ESK-I03L12-B1
----------------	---

項目	受動的方式	能動的方式						
1.方式名称	電圧位相跳躍	周波数シフト						
2.基本原理	系統側の電圧波形の周波数を計測し、系統停電時発生する電圧位相の変動を監視する。	出力周波数にバイアスを与えておき、連系点の変化を検出する。						
3.回路方式 または 制御フロー	<p>系統電圧のゼロクロスーゼロクロス間の時間を計測する。直前8サイクルの時間の平均を計算し、今回のサイクルの時間と比較する。その差が規定以上の差であることで単独運転を検出する。</p>	<p>系統電圧波形1周期の時間を計測する。前回1周期の時間と今回1周期の時間を比較して前回1周期時間\leq今回1周期時間の場合、今回1周期時間$<$次回1周期時間になるようにインバータの出力周波数を調整する。</p> <p>系統電圧波形1周期の時間を計測する。前回1周期の時間と今回1周期の時間を比較して前回1周期時間$>$今回1周期時間の場合、今回1周期時間$>$次回1周期時間になるようにインバータの出力周波数を調整する。</p> <p>単独運転が発生した場合、上記動作を繰り返すことによりOFRで設定したレベル以上、UFRで設定したレベル</p>						
4.整定範囲	±0.1～5.0%	<table border="1"> <tr> <td>出荷時整定</td> <td>UFR 48.0/48.5/49.0/49.5(57.6/58.2/58.8/59.4)Hz</td> <td>出荷時整定</td> </tr> <tr> <td>±2.0%</td> <td>OFR 50.5/51.0/51.5/52.0(60.6/61.2/61.8/62.4)Hz</td> <td>49.0(58.8)51.0(61.2)Hz</td> </tr> </table>	出荷時整定	UFR 48.0/48.5/49.0/49.5(57.6/58.2/58.8/59.4)Hz	出荷時整定	±2.0%	OFR 50.5/51.0/51.5/52.0(60.6/61.2/61.8/62.4)Hz	49.0(58.8)51.0(61.2)Hz
出荷時整定	UFR 48.0/48.5/49.0/49.5(57.6/58.2/58.8/59.4)Hz	出荷時整定						
±2.0%	OFR 50.5/51.0/51.5/52.0(60.6/61.2/61.8/62.4)Hz	49.0(58.8)51.0(61.2)Hz						